

事業テーマ：デザイン力を活かした独自性の高い小ロット印刷サービスの提供

事業者名：株式会社シュービ 事業年度：平成26年度

Case

2

ものづくり技術

小ロット・多品種のニーズに応える独自性ある印刷物の商品化

業務用印刷事業に加えて一般消費者向けの商品販売を強化するため、型抜き加工システムと中綴じ製本システムを導入した。デザイン力を活かした独自性のある商品を小ロットで提供できるようになり、型抜き加工は受注件数が約3倍に伸びている。

カタチやデザインで個性を

当社はオフセット印刷、オンデマンド印刷で多様な印刷物を高品質、低価格で提供しています。インターネット印刷通販とも価格競争が激化する中、小ロット多品種のカラー印刷を中心に事業を展開しています。情報伝達はすでに紙媒体よりもWEBの方が優れており、スピードも速く地球の裏側の出来事を瞬時に伝えることができる時代です。しかし、流通する情報量が増え取捨選択しないと溢れてしまう現在、記憶に留めてもらうことが難しい時代とも感じます。私たちは手に触れるもののカタチを変え、遊び心を加え、印象に残る印刷物を大切にしたいと考えています。お客様も大ロットで標準的な印刷物よりも、伝えたい内容によってカタチやデザインを変える小ロットで多品種な商品を選ぶことが多くなっています。補助事業ではそのようなニーズに応えるべく事業計画を立案しました。

新事業では、視覚や触覚など感性に訴える付加価値の高いPOPやパンフレットの商品化を目標と

補助事業のきっかけ

- ・インターネット印刷通販等、大量印刷・低価格で価格競争が厳しくなる中、当社顧客や新規顧客のニーズは「他にはない変わったもの」「捨てずに手元に置いておきたくなるようなもの」という独自性になっている。
- ・このような小ロット、多品種への対応を可能にすべく最新型紙加工システムの導入を目指した。

事業計画の概要

- ・型抜き加工機と中綴じ製本機の導入により、立体的で様々な形の商品化(POP、名刺、ショップカード、パンフレット等)を目指した。
- ・プリンターで対応できなかった用紙(凹凸ある紙や和紙のような特殊な紙)が印刷可能となり、デザイン提案の幅を広げた。

事業化状況

- ・特殊な型抜きで印刷物の形を特徴あるものにしたり、飛び出す絵本のような動きある販促物を商品化することで受注が3倍に増えている。
- ・コロナ禍で消費者の行動制限がかけられ店舗の販売促進に関するPOPやパンフレット等の受注が消滅する影響も出ている。



導入した型抜き加工機



左上/紙製のアクセサリースタンド 右上/顧客に好評な立体的な名刺 右下/飛び出す仕掛けのあるカード 左下/統括部長の小嶋さん(左)と代表取締役の村田(俊夫氏)(右)

し、最新デジタル印刷機を導入して凹凸ある用紙や和紙のような特徴ある用紙への印刷を可能にしました。これによって差別化や個性を求める小売店や個人事業主のニーズを汲み取ることができました。これまで平面的だった印刷物が型抜き加工機を活用することでハート型や丸型になったり、飛び出す絵本の仕掛けもでき、ワクワク感ある商品はとても好評を得ています。補助事業によって新しいニーズを掘り起こすことができ、低価格を謳う大手インターネット印刷通販と差別化しながら、競争力を強化できています。

常に考え、成長する

印刷業は年々値下げ圧力のある業界です。私は暇になっても仕事をするための赤字受注は避けるべきと考えています。暇になれば社内は危機感を持って知恵を絞る、そして新しいアイデアが生まれるからです。考えを止めてしまっは成長はできません。今回、新機購入の期待から構想が膨らみ、社内からも多くのヒントが生まれました。社内の活性化においても良い機会だったと思います。

企業概要



オフセット印刷、オンデマンド印刷にて、名刺・フライヤーからポスター・冊子印刷まで多様な印刷商品を低価格・高品質・送料無料(一部を除く)にてお届けしている。型抜き加工によって立体やユニークな商品を提供しており、今まで印刷通販を利用されていなかった方にも満足いただけるサービスの提供を行っている。また、持続可能な社会に向けて環境負荷を下げるべくSDGsへの取組みにも積極的である。

株式会社シュービ

代表取締役 村田俊夫

1981年4月

〒224-0044
横浜市都筑区川向町
787-1

13人

1,000万円

045-471-7707

印刷・同業連業

WEBサイト



取材の現場から

「伝える」ことにこだわりを持つ当社。お客様に関心を持ってもらうには・・・と着想したのが飛び出す名刺である。「顧客開拓に何万円も投資するよりも一枚100円の名刺からできることがある」と村田社長は話す。名刺を渡した顧客から即受注したことも。従業員もマーケティング講座を定期的に受講し常に発想を磨き上げている。これからの新商品に期待したい。